

## 職員による自己評価

## ① 環境面・体制整備

- ・利用児童とスペースの関係は丁度良い。
- ・職員配置は厳しい時がある。

## ② 業務改善

- ・職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。

## ③ 適切な支援の提供

- ・支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。
- ・定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。

## ④ 関係機関や保護者との連携

- ・学校との情報共有を適切に行っている。
- ・日頃から子供の状況

## ⑤ 保護者への説明責任等

- ・保護者会としての活動はしていない。
- ・定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信している。

## ⑥ 非常時等の対応

- ・虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等の対応をしている。
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。

## 保護者による評価

## 23名回答

## ① 環境・体制整備

- ・スペースは十分に確保されている。23名
- ・バリアフリーの配慮は6名がどちらとも言えない。

## ② 適切な支援の提供

- ・活動プログラム固定化しないよう工夫されているか。はい17名 どちらともいえない6名

## ③ 保護者への説明等

- ・保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援がおこなわれている。23名
- ・定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか。23名

## ④ 非常時等の対応

- ・定期的な避難訓練は行われている。23名

## ⑤ 満足度

- ・事業所の支援に満足している。23名

## 事業所内での分析

## 【共通点】

- ・活動のスペース場所の確保が十分だが、バリアフリーの配慮の工夫はどちらとも言えない。
- ・定期的に会報の発行や活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に発信している。
- ・マニュアルの整備がされていない。
- ・避難訓練の実施をしている。

## 【相違点】

- ・活動プログラムについて固定化工夫

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・ホームページ等で活動の様子を発信している。
- ・家族との信頼関係が出来ている。
- ・学校との情報共有が出来ている。

### 事業所の改善点

- ・活動プログラムについて、繰り返し行う事で流れを覚えたり、家でもやってみるよという事を目標に行っていますが、学年の幅も広がったので内容の見直しは必要。

### 事業所の改善への取り組み

- ・新しいプログラムについて見直していく為に、事業所で情報収集をしていく。
- ・職員配置が厳しいという声が出たので、人員補充等出来るように検討していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎回このアンケートで襟を正す機会を頂いています。

頂いたご意見を真摯に受けとめて、より良い事業所を目指していきたいと思ひます。

お忙しい中、ご協力を頂き有難うございました。

事業所名 こどもの家 ムー

担当者 草間 利恵子